

## 地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和元年度						
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>海水ポンプ（No. 8, 9）をインバータ化して、電力使用量を削減した。</li> <li>銅熔錬工場や貴金属工場など所内各工場の空調機の更新および照明のLED化を行い、電力使用量を削減した。</li> </ul>						
温室効果ガスの吸収等	区分	実施年度（令和元年度）				二酸化炭素換算(t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等					t-CO <sub>2</sub>	
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用					t-CO <sub>2</sub>	
		グリーン電力証書の購入					t-CO <sub>2</sub>	
		グリーン熱証書の購入					t-CO <sub>2</sub>	
		オフセット・クレジットの購入					t-CO <sub>2</sub>	
		国内クレジットの購入					t-CO <sub>2</sub>	
		J-クレジットの購入					t-CO <sub>2</sub>	
	合計				①		t-CO <sub>2</sub>	
	温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区分	基準年度 (平成28年度)	目標年度 (令和元年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和元年度)	対基準 年度比 (%)	
温室効果ガス 排出量		(二酸化炭素換算(t))② 342,402 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算(t)) 335,000 t-CO <sub>2</sub>	97.8	(二酸化炭素換算(t))③ 288,013 t-CO <sub>2</sub>	84.1		
<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A		(二酸化炭素換算(t))② 342,402 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算(t)) 335,000 t-CO <sub>2</sub>	97.8	(二酸化炭素換算(t))③-① 288,013 t-CO <sub>2</sub>	84.1		
<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B								
温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B								
排出量等の 増減理由	令和元年度は操業が順調に推移したため、各種燃料（特に一般炭）および電力ともに使用量が平成30年度に比べて減少したために、総排出量が減少した。							
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全活動として、社有地において1.0haの植栽を実施した。</li> <li>所内の建屋に緑のカーテンを敷設した。</li> </ul>							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する口にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。